

## 「新しい欧州自転車規格」会議

—ベルギー・ブリュッセルにて開催—

2006年2月14日(火)、ベルギーのブリュッセルにおいて COLIBI (欧州自転車工業連合会) 及び COLIPED (欧州自転車部品・付属品工業連合会) 共催による、「新しい欧州自転車規格」会議がセミナー方式で開催された。

午前11時30分から午後4時30分の予定であったが、途中の休憩時間も発表者への質問、参加者同士での意見交換と途切れなく続き、会議が終了したのは午後5時を過ぎていた。会場には欧州主要国の自転車工業会やメーカーが集まり、欧州規格が自転車業界に及ぼす影響について熱心に議論が行われた。その中でも欧州に製品を供給しているアメリカのスペシャライズド社は、カリフォルニアから4名の技術者を派遣していた。

ブリュッセルで開催された会議は、大きく5つのパートに分けられた。

1. ドイツ二輪産業協会(ZIV)技術部長ノイバーガー氏による、欧州自転車4規格の説明及び欧州自転車業界に与える影響。
2. EUのPL訴訟を専門とする弁護士による法律面からの欧州規格の意義。
3. PL保険を取り扱う保険業界の視点による欧州規格の意義。
4. 欧州規格制定委員会の委員長、自転車業界代表、弁護士及び業界団体代表者による欧州自転車4規格についてのパネルディスカッション。
5. 質疑応答

なお、今回ブリュッセルで行われた「新しい欧州自転車規格」会議に関連するが、3月2日(木)午後1時30分から東京において、当協会の「平成17年度第3回国内対策委員会」を開催予定である。この委員会の中で、ブリュッセルの会議で講師の一人であった、ドイツ二輪産業協会(ZIV)技術部長ノイバーガー氏に講演を御願ひしている。また、当協会技術研究所の坪井信隆が、ブリュッセルで開催された会議の報告を行う予定であり、当日は聴講も可能である(原則として事前申込必要)。



ブリュッセルでの会議の様子

(デュッセルドルフ事務所、国際業務部)